

## 市議会を活性化するけん引力

### さえき由恵のブログ

<http://yosie.iku4.com/>

検索



よろしく  
お願いします

新

「よしえの活動日記」

日々の情報を発信していきます!

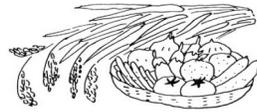
こんにちは、さえき由恵です。これまでのホームページから、新たにブログ「よしえの活動日記」を始めました。  
私のモットーは、①市民の声を何よりも大切にすること、②市民の利益第一で行動すること、③市民とともに政治を変えることです。  
市議会や市政のこと、日々の活動について、情報を発信していきます。日本共産党加須市議団ホームページと合わせてご覧下さい。



### 安倍亡国政治に反撃

#### 請願採択に全力

安倍・亡国政治に対し、市民が反撃。「米価の安定対策を求める請願」と「集団的自衛権行使容認に反対する請願」の2件を提出しました。  
紹介議員の共産党議員団は採択に向け奮闘。「米価の安定対策」の請願は、全会一致で採択。安倍首相など政府に、意見書を送付しました。



会期34日間におよんだ9月市議会は、今月6日にすべての審議を終え、閉会しました。一ヶ月を超える長丁場の議会でした。日本共産党議員団は、市民の立場から、市政全般にわたって、建設的な議論を展開してきました。市議会を活性化するけん引力として存在感を示しました。

日本共産党  
加須議員団

## 9月市議会 存在感示す

### 議案を市民の目線でチェック

#### 本会議で 委員会

共産党議員団は、市長が提出した25議案に対し、①本会議で質疑(9月10日)、②常任委員会審査(9月19日)、③決算特別委員会5日間にわたる審査(9月24日～10月1日)、④市議会最終日・本会議で討論(10月6日)で、市民の目線から質疑と討論を行なって、行政全般についてチェックしてきました。  
審議の焦点は、来年4月からスタートする、子育て条例4件と13年度決算。さえき議員は子育て条例で質疑を展開。小坂徳蔵議員は5日間の決算委員会13年度決算を詳細に審議。同和事業や身の丈を越える開発事業等を止しました。

### 最終日討論

#### 政策提案へ

34日間の審議を終えた最終日の本会議で、共産党議員団は審議の結果をふまえ、13議案について討論。新年度に向けて、政策提案を行いました。

### 市民の声を取り上げて

#### 一般質問14項目

共産党議員団の4名は、市民の声を市政に届けるため、本会議で一般質問(9月18日)を行ないました。取り上げた質問は計14項目。さえき議員は、焦眉の課題である教室のエアコン設置や公立幼稚園の継続、放射能対策などについて市長や教育委員長と論戦。市政を前に進める議論を展開。

ブログ「よしえの活動日記」

<http://yosie.iku4.com/>

検索

日本共産党加須市議団HP

日本共産党加須市議団

検索

ご意見ご要望、ご相談は

[saeki-peace@plum.ocn.ne.jp](mailto:saeki-peace@plum.ocn.ne.jp)

加須市上種足1322-1 TEL 0480-73-1607

生活相談  
お気軽に



# 来春市議選から 32 → 28に



最終日・本会議

## 議員定数4削減

### 共産党議員団が反対討論

めて重大な責任を負っています。こうした見地から市議会は、市民の負託に応える審議・議事

機関となるよう真摯に、かつ不断の努力が

さらには市議会は、地方自治制度における二元代表制の一翼を担う機関として、その使命と役割をしっかりと果たさなければなりません。

そのことは、全国町村議会議長会が発行している「議員必携」に、議会の使命と役割について、「執行機関の行財政運営について、批判し監視することである」と強調し、これが「完全に達成できるよう議会の一員として懸命に努力すること」が議員の職責である」というように指摘しています。

つまり、市議会を構成する議員の職務とは、行政をチェックすること、税金の使い方を監視する、ということ

地方自治制度における二元代表制のもとで、こうした

た議員の職務と役割を不問に付し、単なる数合わせの議論に陥るならば、議員自らその基盤である議会制民主主義を形がい化させる以外の何物でもないでしょう。

それは、マスメディアが報道している、行政へのチェック機能の低下を招くだけでしょう。

さらに、議員を削減して、行政改革の一環と言うならば、これほど不明瞭、不確かな議論はないでしょう。

今年度、加須市において、一般会計、特別会計、企業会計を含めた予算全体の総額は665億円です。これに対し議会費は、わずか3億6千万円に過ぎません。

例えば、市議会すべてをなくしても、その財政効果を言うならば、加須市予算の僅か0.5%に過ぎません。

加須市予算全体で考えるならば、殆んど何の効果にもなり得ないでしょう。

行政改革をいうならば、血税を100億円つぎ込む身の丈を超える開発事業、血税大ムダ遣いの温床となっ

ている「同和」事業はやめて、税金を住民の暮らしと福祉、教育に使わせること

でしょう。そのために、議会が市政をチェックし、言論の府として活発に議論するーこれが本来の議員のあり方です。このことを市政の主権者である市民は、議会と議員に何よりも期待していること

こうした市議会と議員の職務、役割を何ら議論せず、ただ議員定数を減らすーこれでは、世間でよく言われる、「バナナのたき売り」と何ら変わることがないでしょう。

わが日本共産党議員団はその政治信条である、市政の主権者である市民に献身し奉仕するーどんなことがあってもこの政治的立場を断固としてつらぬいて市民と共同し全力でたたかい抜いていくことを表明し反対の立場からの議論を終わります。



## 2015年度予算要望

# 「市民の声にもとづいてまとめます」

市は、9月市議会が終わると新年度の予算編成作業に取りかかります。

同時に、日本共産党議員団は、新年度予算に市民の声を反映させるため、毎年、市民の声にもとづいて、「予算編成に対する要望」をまとめ、大橋市長に提出しています。昨年は187項目について申し入れを行い、すでに騎西地域の学童保育室の改善など実現しているものもあります。

現在、共産党議員団は2015年度予算編成について、市民の声をまとめています。ぜひ、ご要望をお寄せ下さい。

日本共産党議員団



大橋市長に提出する議員団(昨年11月)